

## <参考資料> 新たな賑わいと憩いの場の創出(広場)

資料4

- ✎ 日常的に県民市民が集い、観光客もひきつける広場
- ✎ イベント等で県民市民が自ら活用する広場

## 日常的に市民が集う 広場のイメージ①

古来、ヨーロッパの広場は都市の中で、道路などと同じようにしかるべき機能を果たす空間として明確に位置づけられてきた。

まちの中心に広がり、諸外国の人々が集まって、滞在する空間。  
夜遅くまで集まった人々の話し声や笑い声が聞こえ、朝には市が開かれる。

グランプラス(ブリュッセル・ベルギー)

ベルギーの首都ブリュッセルに中心部にあるグランプラス。「世界一美しい」と呼び声高い広場。(世界遺産)  
広場の四方を囲むのは、当時、ヨーロッパの商工業者間で相互扶助を目的に結成された同業者組合(ギルド)の建物であるギルドハウス。



## 日常的に市民が集う 広場のイメージ

ポーランド西部の都市  
ヴロツワフにある旧市街広場。  
後期ゴシック様式の市庁舎  
などカラフルでメルヘンチック  
な建物に囲まれている。

広場にはレストランやカフェ  
のテラス席があり、市民や  
観光客の憩いの場となっ  
ている。



# 日常的に市民が集う 広場のイメージ

ドイツ南西部の都市  
フライブルクにあるフライブルク  
大聖堂の前に広がる広場。

月曜日から土曜日まで、  
旬の青果や、パン、ジャム、  
花、木工品などがズラリと  
並ぶ魅力的な朝市が  
開催されている。



## 日常的に市民が集う 広場のイメージ④

言わずと知れた、世界的に有名な観光地、イタリア・ローマのスペイン広場。

130段以上ある階段は、高台にあるトリニタ・ディ・モンティ教会へと続く。

昼間も夜も多くの観光客や地元の人で賑わっている。



日常的に市民が集う  
広場のイメージ



# 日常的に市民が集う 広場のイメージ

東京都心、JR池袋駅の  
すぐ近くにある南池袋公園。

都市の中の緑の空間と  
カフェには、平日の昼間でも  
多くの人で賑わう。



# イベント等で市民が活用する 広場のイメージ

熊本城に近接する  
(仮称)花畑広場。

プロモーター系のイベントに加え、「水曜日はケータリングカーの日」「はなばたウインターパーク」など、地域に協議会や実行委員会が生まれ、育ち、自らが企画する地域イベントが増加している。

隣接する桜町地区再開発と併せて、一体的なオープンスペース(広場)として整備。H27年度から暫定供用し、整備に向けた様々な社会実験と、にぎわいを創出するイベントの実証実験を重ねている。

2020.1月工事着手、2021年度供用開始  
面積：約2,200㎡(暫定供用) 約8,000㎡(完成)  
設備：電源、給排水、街灯など(暫定供用時点)





## イベント等で市民が活用する 広場のイメージ



富山市の中心市街地にある  
富山グランドプラザ。



広場の利用者ニーズを  
掘り起こし、広場の貸出し  
方法や条件などに反映。  
また、イベント企画経験の  
ある若手人材を計画当初  
から巻き込み、運営手法の  
検討を進めた。  
土日祝日は必ず何か取組み  
を行っている。



市道の付け替えと再開発事業により整備した、ガラス屋根に  
覆われた広場空間  
面積：約1,400㎡(ガラス屋根有り)  
設備：電源、給排水、大型ビジョン、wi-fiなど



## イベント等で市民が活用する 広場のイメージ



福岡市の福岡市役所西側  
ふれあい広場。



市の利用日（博多どんたく  
など年間90日程度）を  
除いた期間を、地域のエリア  
マネジメント団体に通年で  
貸し出している。  
貸出し期間中は、広場単体  
イベントのほか、複数の広場  
やエリアが連携した企画  
イベントを開催。



福岡市役所に併設している、一面に人工芝を敷設した  
イベント広場。  
面積：約3,000㎡(人工芝敷設)  
設備：電源、給排水、照明、ステージなど